



じんけんへいわしりょうかん
人権平和資料館だより

2025年（令和7年）9月

HUMAN RIGHTS & PEACE

だいごう
第299号

じんけんへいわ
人権と平和は

せい
21世紀のキーワード

〒720-0061

ふくやましまるのうち
福山市丸之内1-1-1

TEL 924-6789

FAX 924-6850

jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp

せんご ねんとくべつき かく しゅうぞうひん てん 戦後80年特別企画「収蔵品」展

きかん がつ にち にち がつ にち げつ
期間 9月14日(日)～11月24日(月)

ことし せんご ねん むか ふくやまくしゅう おな ねん けいか
今年、戦後80年を迎え、福山空襲からも同じく80年が経過しました。
げんざい しみん かたがた きぞう へいわ かん きちよう しりょうなど かすおお しゅうしゅう
現在までに、市民の方々より寄贈された平和に関する貴重な資料等を数多く収集しました。
こんかい いちぶ てんじ いのち たいせつ せんそう へいわ へいわ きす
今回、その一部を展示することにより、命の大切さ、戦争のない平和な社会を築いていくため
わたし いま なに
に、私たちが、今、何をしなければならないかを考えるものです。

じゅうじゅんようかん くまの しんごう 重巡洋艦「熊野」信号ラッパ



ぐんたい もち しんごう
軍隊で用いられるビューグル(信号ラッパ)
おと かんたか えんぼう ひび そうおん なか
の音は甲高く、遠方まで響き、騒音の中
き と で き とくせい
でも聞き取ることが出来ます。この特性によ
り、ラッパは古来から太鼓と並び軍事的な
れんらくしゅだん しやう へいし しきかん
連絡手段として使用され、兵士に指揮官の
ごうれい つた つか しんごう
号令を伝えるのに使われました。この信号
ラッパは重巡洋艦「熊野」で使用された
くまの ちんぽつ とし しんごうへい なかむら
もので「熊野」が沈没した時に信号兵の中村
ただお とも きせきてき せいがん
忠雄さんと共に奇跡的に生還し、その後
ふくやまかいぐんこうくたい とっこうしゅつけき さい ふ
福山海軍航空隊では特攻出撃の際にも吹
かれました。こんかい はつこうかい
今回は初公開です。

ふくやましじんけんへいわしりょうかんきかくてんかんれんぎようじ 福山市人権平和資料館企画展関連行事

えいが
映画「

たてごと
ビルマの堅琴」

にち し
■日時

がつ にち にち
10月19日(日)

にゅう じょう む りょう
入 場 無 料

かいじよう かいえん
①開場 9:30、開演 10:00～12:00

かいじよう かいえん
②開場 13:00、開演 13:30～15:30

ば しょ
■場所

ふくやましじんけんへいわしりょうかん
福山市人権平和資料館

がくどうそかいしりょう にっき
学童疎開資料「日記」



こだま
五玉ソロバン



f がたてまわしはつでんき
一九号F型手回発電機



しょうわ ねんだい
昭和10年代のカルタ



ぼうくうずきん
防空頭巾



すごろく
双六



たいへいようせんそう お ねん けいか こんにち せんそう たいけんしゃ こうれいか
太平洋戦争が終わって、80年が経過した今日、戦争の体験者は高齢化し、
しゃかい こうせい ちゅうしん せだい せんそう じったいけん も せんそう れきしじょう できごと
社会を構成する中心の世代は戦争の実体験を持たず、戦争は歴史上の出来事にな
なりつつあります。しかし、せかい かくち いま ふんそう こうい ひんぱつ
世界各地では、今もなお、紛争やテロ行為が頻発
し、おお とうと いのち うば いま せんそう おろ ふうか
多くの尊い「命」が奪われています。今まさに、戦争の愚かさを風化させ
ることなく、へいわ しゃかい じせだい こ ひ つ いのち まも へいわ
平和な社会を次世代の子どもたちに引き継ぎ、「命」を守り、平和
な未来を創造して行くために、しゅうぞうひん てん かいさい せんそう さいだい じんけん
「收藏品」展を開催します。「戦争は最大の人権
侵害」であることをいまいちどうった
今一度訴えるものです。